

2018年度 広報渉外室 広報渉外委員会 方針

委員長／嶋村 崇 副委員長／三浦 裕太 委員会幹事／濱谷 健太
委員／清田 茂人 澁田 孝 高野 信子 馬場 敬太 松井 久紀

委員長 嶋村 崇

1 函館青年会議所は永きに渡り、地域の未来を考え、その想いや活動内容を地域住民に届
2 くように発信してきましたが、SNSやWEBが一般化して様々な情報が氾濫している現
3 代社会において、我々の活動情報を発信する既存の媒体を見直す変革期にあります。地域
4 発展に向けて大きな波及効果をもたらす運動を目指す我々としては、メンバー一人ひとり
5 の発信力と組織としての広報活動を強化し、より多くの賛同者を増やす必要があります。

6 まずは、関係諸団体、各地会員会議所など多くの賛同者の方々に今年度の活動に対する
7 指針を理解していただくために、新体制や活動方針をお披露目し、協力体制の強化につな
8 げます。そして、我々が地域発展を目指し日頃の活動や想いをさらに発信していくために、
9 地域メディアとのさらなる連携など、情報受信者の琴線に触れる形へ見直しすることで、
10 情報の一方通行ではない新たな媒体を使用した方法を創出し発信していきます。さらに、
11 各地青年会議所との連携を強め、活動視野を広げるために、遠征の意義や重要性を会員に
12 周知し参加を促すことで、各地域と連動した地域活性の可能性を廓大します。また、海外
13 にも視野を向けられるメンバーを増やすために、世界会議に次ぐ大会を体感することで、
14 我々の活動がより影響力のあるものにしていきます。そして、我々に向けられる関心や目
15 に触れる機会の向上のために、青年会議所内外で獲得した地域発展へつながる情報を、既
16 存の発信手法以上の時勢に合わせた伝え方を創出することで、我々の広報活動が地域に対
17 し、より強いメッセージ性を獲得し続ける必要があることをメンバーに再認識していただ
18 きます。

19 メンバー一人ひとりが、我々の情熱や想いを発信する根源として、波及効果のある広報
20 活動を認識することで、LOMとメンバーの発信力が強化され、我々の運動が市民からの
21 共感を得て、地域に対し効果的に伝播される環境を創出します。

22 事業計画

- 24 1. ホームページの運営
- 25 2. 1月例会(新年交礼会)の運営
- 26 3. 5月例会(ASPAC鹿児島大会)の運営
- 27 4. 9月例会の運営
- 28 5. 新入会員の拡大
- 29 6. 各委員会及び出向者への協力
- 30 7. 各種大会・会議への参加

2018年度 一般社団法人 函館青年会議所 広報渉外委員会 年間事業フレーム

1. 1月例会（新年交礼会）の運営
2. 5月例会（ASPAC鹿児島大会）の運営
3. 9月例会の運営
4. 函館青年会議所ホームページの運営
5. 新入会員の拡大
6. 各会員及び出向者への協力
7. 各種大会・会議への参加

事業別作業スケジュール

事業名		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1月例会（新年交礼会）の運営	上程	協議	審議		実施	報告										
	作業等															
5月例会（ASPAC鹿児島大会）の運営	上程						協議	審議	実施		報告					
	作業等															
9月例会の運営	上程										協議	審議	実施	報告		
	作業等															
函館青年会議所ホームページの運営	上程		協議	審議						実施						報告
	作業等															
新入会員の拡大	上程	実施			実施											
	作業等															
各会員及び出向者への協力	上程	実施			実施											
	作業等															
各種大会・会議への参加	上程	実施			実施											
	作業等															